

フィードバックされた情報（還元情報）の整理のための「還元情報集約表」

加藤真由美（岐阜女子大学 沖縄サテライト校）

デジタルアーカイブ資料の利活用における活用者からのフィードバックされた還元情報は、開発者側・活用者にさまざまに活用されはじめている。これらについては課題もあるが、還元情報の継続した活用が可能になるよう整理し管理していくことが企業等にとっても重要である。

そこで、還元情報整理のための「還元情報集約表」を作成し、試行を行なったので紹介する。

■ 岐阜女子大学沖縄サテライト校（開発者）におけるアンケート等による

これまでのフィードバック情報の活用例

① コンテンツの改善として活用

フィードバック情報から「活用者の視点からの改善情報」を得て、これを検討・改善する。

② 付加価値情報の付与として活用

フィードバック情報から「実践に役立つ関連資料等の情報」を得て、コンテンツに追加、または参考とする。

③ 既存コンテンツへの追加項目の検討・提供として活用

フィードバック情報から「活用者本人が収集した資料の提供」を受け、開発者が著作権等処理を行ったのち、新しいコンテンツまたは既存のコンテンツへの追加資料として公開する。

④ 実際の活用方法についての情報提供として活用

フィードバック情報から「開発者が考え得なかった活用者のコンテンツ活用方法の情報」を得て、他の活用者（活用コミュニティ）へ SNS 等を利用して発信する（予定）。

■ フィードバックされた還元情報の整理のための「還元情報集約表」の必要性

アンケート等からフィードバックされた還元情報は、活用者の実践（実際の資料活用）に基づく有用な情報であり、開発機関はコンテンツ等のさらなる発展にむけ、これらの情報を最大限に分析し活用する必要がある。そのためにも開発機関は還元情報を整理し、“どの時期に” “どのように”活用したか、記録として残していくことが重要である。

そこで今回、還元情報の具体的な内容や活用方法の整理のため「還元情報集約表」を作成・試行を行なった。入力にあたって、岐阜女子大学沖縄サテライト校で開発している「沖縄おうらい」

* のこれまでのフィードバックされた還元情報を使用した。

* 「沖縄おうらい」とは

2011 年、本学では、収集してきた全国の地域文化資料約 20 万件の資料データの中から、沖縄県へ修学旅行に行く高校生のための学習支援冊子「沖縄おうらい」と、冊子と連携した WEB ページ（コンテンツ）を作成し、毎年希望校へ配布。修学旅行担当の先生に任意でアンケートをお願いし、これらの分析から「沖縄おうらい」の改善を繰り返してきた。2020 年度で初版から 10 年を迎える。

ID	標題名	資料名	分類（分野）	場所（地名等）	緯度・経度	人物	時代（年月）	モノ・コト	キーワード	許認可（利用条件）	還元情報の内容	還元情報の利活用	記録者	備考
1	1oraisurvey201104901	教員による回答	活用情報	岐阜県立東濃農業高校		***	2011	タクシー研修	2011年、教員、活用情報、岐阜県、タクシー研修	クリエイティブ・コモンズ 4.0 国際ライセンス [00 0] で提供	タクシー研修の計画を立てるのに利用した。		加藤	特になし
2	2oraisurvey201104906	教員による回答	改善情報	岐阜県立東濃農業高校		***	2011	コラム	2011年、教員、改善情報、岐阜県、コラム	クリエイティブ・コモンズ 4.0 国際ライセンス [00 0] で提供	生徒が読みやすいコラムがあるとより興味があく。	活用日時：2013年 活用対象：冊子 活用内容：5つのコラムを追加	加藤	特になし
3	3oraisurvey20110509	学生による回答	改善情報	静岡県立磐田農業高校		***	2012/1/10	レシビ	2011年、学生、改善情報、静岡県、コラム	クリエイティブ・コモンズ 4.0 国際ライセンス [00 0] で提供	料理のレシビを増やしてほしい。	活用日時：2015年 活用対象：冊子とウェブ 活用内容：5つのレシビを追加	加藤	特になし
4	4oraisurvey201106202	教員による回答	活用情報	常葉学園高等学校		***	2011/12/27	レシビ	2011年、教員、活用情報、静岡県、レシビ	クリエイティブ・コモンズ 4.0 国際ライセンス [00 0] で提供	掲載されていたレシビ等の情報を家庭科の授業の中で説明した。		加藤	特になし
5	5oraisurvey2016s1701	学生による回答	改善情報	富山国際大学付属高校		***	2016	コンテンツ	2016年、学生、改善、富山県、コンテンツ	クリエイティブ・コモンズ 4.0 国際ライセンス [00 0] で提供	女子高生に人気のあるアメリカンビレッジを取り上げてほしい。	活用日時：2018年 活用対象：冊子とウェブ 活用内容：新コンテンツとしてアメリカンビレッジを追加	加藤	特になし

■ 「還元情報集約表」項目とその説明

下表は「還元情報集約表」の項目とその説明である。これらの項目に各情報を付与することにより、還元情報の具体的な内容と活用方法などを一体的に記録することができる。

なお「還元情報集約表」は還元情報の整理のための一覧であり、原則項目 1 ～ 14 の内容すべてを内部情報とする。

1. ID	還元情報を一意に識別する ID（半角英数字）
2. 標題名	還元情報を示す資料の上位名称
3. 資料名	還元情報を示す資料の名称
4. 分類（分野）	還元情報の分類
5. 場所（地名等）	還元情報の提供者の機関またはその所在地名
6. 緯度経度	還元情報の提供者の機関の所在地の緯度経度
7. 人物	還元情報の提供者の氏名
8. 時代（年月）	還元情報を提供された年月日
9. モノ・コト	還元情報が示す主題
10. キーワード	還元情報に関するキーワード
11. 許認可（利用条件）	還元情報の著作権、プライバシー等の権利処理において許認可を得た利用条件 (例 クリエイティブコモンズライセンス 等)
12. 還元情報の内容	還元情報の具体的な内容
13. 還元情報の利活用	コンテンツの改善点、追加した付加価値情報や新しいコンテンツ、実践での利活用
14. 記入者	記入者の氏名

■ 「沖縄おうらい」の還元情報を用いた「還元情報集約表」の試行

左表は「還元情報集約表」に、2011 年から岐阜女子大学沖縄サテライト校で開発・刊行している「沖縄おうらい」の、10 年分のアンケート用紙から還元情報の一部を取出して入力し、試行した表である。

還元情報のうち改善情報については、すでに改善済みの場合は具体的な利活用について活用日時、活用対象、活用内容をそれぞれ入力した。活用情報については、今後、インスタグラム等の SNS を利用して、活用者（活用コミュニティ）へ発信する予定である。2つの還元情報を整理することにより、活用計画の立案にも役立てることができる。

今回、試験的に還元情報を入力するため過去のアンケート用紙を見直してみると、見逃していた還元情報も多く、この表に整理していく意義を強く感じた。10 年分のアンケートをすべて入力することは多くの時間と労力を要するが、コンテンツ発展のためには必要な作業であるとする。

■ 「還元情報集約表」の試行のまとめ

活用者からの実践に基づく主観的な情報でもある還元情報の整理・管理は、開発機関として、フィードバックされた還元情報の利活用を見直す際も、次の事案の活用計画を立案する際も役立てることができる。コンテンツやデジタルアーカイブそのものの発展の助けになる。

今後は、「還元情報集約表」に整理した還元情報を精査し、活用計画を立案して活用者へ還元することにより、「沖縄おうらい」の資料データの積極的な活用につなげたい。さらに、更新した WEB ページの情報をリンク情報として入力できる項目を設ける等、「還元情報集約表」に引き続き多くの情報を入力し検証を進め、改善を行なっていく。